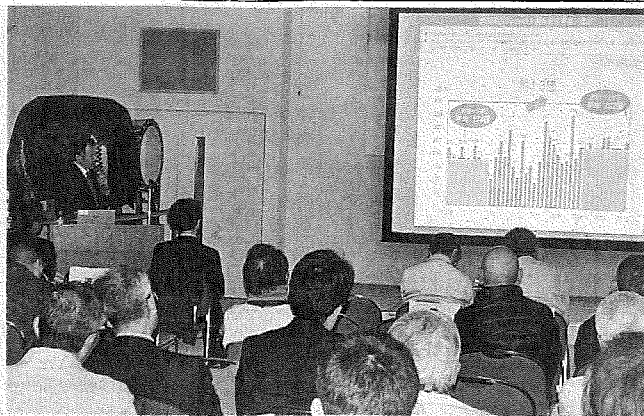


広域ワイド

天竜川ダム再編に理解

佐久間地域住民らが勉強会



天竜川ダム再編事業について講演する近藤課長＝浜松市天竜区佐久間町の佐久間歴史と民話の郷会館

浜松市と国道交通省浜松河川国道事務所はこのほど、「第4回天竜川勉強会」天竜川とともに生きる」を同市天竜区佐久間町の佐久間歴史と民話の郷会館で開いた。地域住民らが天竜川ダム再編事業などに理解を深めた。

同事業は水力発電を目的とする佐久間ダムに洪水調節機能を持たせ、ダム底にたまった土砂を下流に流す国土交通省の構想。同事務所開発工務課の近藤浩市課長が講演した。近藤課長は天竜川の課題について、「河口部では長期的な海岸浸食が進行している」と指摘。恒久堆砂対策として、佐久間ダムへ確保する洪水調節容量を土砂の堆積から守るために、下流河川への土砂還元を行う方法を紹介した。

勉強会では、スマートフォンを指す浜松市のエネルギー政策に関する講演も行われた。(水窪支局・青木功太)

この記事・写真は静岡新聞社の許諾を得て掲載しています。